

歳出予算事業概要書

平成27年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費	所属	0101010800-0000	企画課
事業	大中細	0213	総合計画策定事業	(簡略番号：001418)				
事業期間	平27. 4. 1～平28. 3. 31		新規・継続	新規	臨・経	臨時		
経費区分	未設定		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	総-総-その他				

財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費		1,530		1,530	
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
その他		1,000		1,000		
一般財源		530		530		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業概要】

日本創成会議が提言した人口減少問題への対応や自治体の創意工夫と地域の多様性を踏まえた地方創生の取り組みの推進など、本町を取り巻く社会情勢は大きく変化している。そのため、直面する課題に的確に対応し、新たな時代にふさわしいまちづくりを総合的かつ計画的に進めていくため、その方向性や施策を明らかにする「第3次湯梨浜町総合計画（仮称）」を策定する。

【事業の必要性】

複雑多岐に亘る行政において、地域社会全体の調和のとれた発展、振興を図るためには、総合的かつ計画的な行政運営が不可欠である。総合計画（仮称）は、町の将来を展望し、中長期的視点に立った行政運営を行う基本となるもので、具体的な行政運営を行う上での指針であり、まちづくりの課題や方向性を町民と共有しながら、必要な施策を着実に推進していくことができる。

【特記事項】

総合計画は、地方自治法第2条第4項において、総合計画の最上位に位置付けられる基本構想の策定が義務付けられていたが、地方自治法の一部を改正する法律（平成23年法律第35号）が平成23年8月1日に施行され、この規定が廃止された。しかし、総合的かつ計画的なまちづくりを推進するため、総合計画或いはそれに準ずる計画を策定することは必要。

2. 根拠法令

湯梨浜町総合計画審議会条例／湯梨浜町総合計画審議会運営規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

平成22年度に策定された「第2次湯梨浜町総合計画」の内容を尊重しながら、新たな時代に即した、持続可能でより発展的な計画を町民の理解と協力を得て策定する。

【事業の効果】

計画策定により、町の将来像を見据えた総合的かつ計画的なまちづくりが推進できる。

6. 財源の説明

【繰入金】 ふるさと湯梨浜応援基金 1,000千円

【一般財源】 530千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	615	615	16 原材料費		
02 給料			17 公有財産購入費		
03 職員手当等			18 備品購入費		
04 共済費			19 負担金、補助及び交付金		
05 災害補償費			20 扶助費		
06 恩給及び退職年金			21 貸付金		
07 賃金			22 補償、補填及び賠償金		
08 報償費			23 償還金、利子及び割引料		
09 旅費	15	15	24 投資及び出資金		
10 交際費			25 積立金		
11 需用費	861	861	26 寄附金		
12 役務費	39	39	27 公課費		
13 委託料			28 繰出金		
14 使用料及び賃借料			予備費		
15 工事請負費			合計	1,530	1,530

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	17020501001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	1,000	

【補助金】

補助金等の名称	補助基本額	補助率	補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

02款 01項 06目 021300000事業 総合計画策定事業